



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社
コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100
四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,543	12.5	85	—	89	—	64	—
2019年3月期第2四半期	3,149	△2.3	△49	—	△41	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	4.55	4.54
2019年3月期第2四半期	△2.70	—

(注) 2019年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	10,928	7,921	72.3	557.18
2019年3月期	11,141	7,868	70.5	553.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,906百万円 2019年3月期 7,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2020年3月期	—	2.00			
2020年3月期 (予想)			—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 1円00銭

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	2.8	520	12.8	520	9.7	360	13.5	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	14,280,000株	2019年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	90,510株	2019年3月期	90,360株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	14,189,597株	2019年3月期2Q	14,189,861株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や設備投資の増加基調が続くなど、底堅い内需により推移しました。しかしながら、海外経済においての米中貿易摩擦の拡大や中東情勢の緊迫化、10月より施行された消費税率引き上げによる景気の減速に留意が必要な状況となっております。

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではジャッキは減少しましたが、バルブ・アクチュエータ及びその他増減速機の受注は増加いたしました。歯車につきましては、その他産業機械用が減少したことにより、受注は減少いたしました。これにより、歯車及び歯車装置事業の受注は増加いたしました。工事業では火力発電所向け等が減少しましたが、石油ガス、原子力発電所向けが増加したことにより、受注は増加いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の受注高は41億70百万円(前年同期比3.8%増)、売上高は35億43百万円(前年同期比12.5%増)となりました。一方、当第2四半期会計期間末の受注残高は43億88百万円(前事業年度末比16.7%増)となりました。

損益面につきましては、売上原価が26億1百万円(前年同期比11.1%増)、販売費及び一般管理費は8億57百万円(前年同期比0.1%増)となり、営業利益は85百万円(前年同四半期は営業損失49百万円)、経常利益は89百万円(前年同四半期は経常損失41百万円)、四半期純利益は64百万円(前年同四半期は四半期純損失38百万円)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・アクチュエータの受注高は、火力発電所向けが減少したものの、原子力発電所向けの特重大事故等対処設備向け装置、石油ガス向けの補修及び改造部品が増加したことにより、前年同期比12.0%増加いたしました。売上高は化学プラント向けが減少したものの、原子力発電所向けの特重大事故等対処設備向け装置、上下水道向けの大型緊急遮断ゲートの設置等が増加したことにより、前年同期比31.3%増加いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は半導体・液晶向けの設備投資、鉄鋼向けの保守需要が減少したことにより、前年同期比15.8%減少いたしました。売上高は半導体・液晶向け、鉄道船舶向け設備投資が減少したものの、紙パルプ向けの新規設備の増加、工作機械向けが堅調に推移したことにより前年同期比1.5%増加いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は火力発電所向けのターニング装置用減速機、ガラスメーカ向けの設備投資による攪拌機等が増加したことにより、前年同期比32.2%増加いたしました。売上高は石油ガス向けの攪拌機、火力発電所向けの排煙脱硫装置用攪拌機及びターニング装置用減速機の更新案件が増加したことにより、前年同期比72.0%増加いたしました。歯車の受注高は、鉄道船舶用傘歯車が増加したものの、コンプレッサー用円筒歯車が減少したことにより、前年同期比36.7%減少いたしました。売上高は鉄道船舶用傘歯車や建設機械用歯車が減少したものの、自動車用歯車、コンプレッサー用円筒歯車が増加したことにより、前年同期比5.2%増加いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比4.6%増加し、売上高も前年同期比28.3%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は火力発電所、鉄鋼、上下水道向けは減少したものの、石油ガス向けのシステム更新や備蓄基地の定期点検、原子力発電所向け定期点検等が増加したことにより前年同期比0.9%増加いたしました。売上高は上下水道向けの返流水処理施設の点検工事等が増加したものの、火力発電所向けの大口点検工事等が減少したことにより、前年同期比25.7%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ1億27百万円減少し79億1百万円となりました。これは主にたな卸資産が4億15百万円、現金及び預金が3億58百万円増加いたしました。売上債権が9億7百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ84百万円減少し30億26百万円となりました。これは主に前払年金費用が52百万円増加いたしました。有形固定資産が73百万円、投資有価証券が26百万円、無形固定資産が25百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ1億98百万円減少し22億63百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が24百万円増加いたしました。未払法人税等が95百万円、1年内返済予定の長期借入金が71百万円が減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ66百万円減少し7億44百万円となりました。これは主に長期借入金60百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ52百万円増加し79億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が36百万円、その他有価証券評価差額金が14百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ3億58百万円増加し29億72百万円(前事業年度末比13.7%増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、5億27百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。これは主に、減価償却費1億33百万円、売上債権の減少9億7百万円の収入に対し、たな卸資産の増加4億15百万円、法人税等の支払額1億35百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、14百万円(前年同四半期は96百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入50百万円に対し、有形固定資産の取得による支出32百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億83百万円(前年同四半期は22百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億31百万円、リース債務の返済による支出22百万円、配当金の支払額28百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,614,405	2,972,990
受取手形及び売掛金	3,210,453	2,302,566
商品及び製品	100,602	140,495
仕掛品	665,207	725,299
原材料及び貯蔵品	1,342,262	1,657,966
その他	96,579	102,430
流動資産合計	8,029,511	7,901,748
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	886,218	812,462
有形固定資産合計	1,899,509	1,825,753
無形固定資産		
	221,898	196,003
投資その他の資産		
投資有価証券	526,039	499,147
前払年金費用	391,093	443,771
その他	78,445	67,509
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	990,379	1,005,228
固定資産合計	3,111,787	3,026,985
資産合計	11,141,298	10,928,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,468,547	1,493,400
1年内返済予定の長期借入金	222,284	150,816
未払法人税等	158,377	63,191
賞与引当金	228,296	228,847
環境対策引当金	3,170	-
株主優待引当金	14,968	13,898
その他	365,933	312,960
流動負債合計	2,461,578	2,263,114
固定負債		
長期借入金	605,369	544,961
退職給付引当金	5,808	4,100
資産除去債務	170,297	170,380
その他	29,643	24,927
固定負債合計	811,118	744,368
負債合計	3,272,697	3,007,483

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	5,525,579	5,561,798
自己株式	△33,239	△33,313
株主資本合計	7,729,488	7,765,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,987	140,415
評価・換算差額等合計	125,987	140,415
新株予約権	13,125	15,201
純資産合計	7,868,601	7,921,250
負債純資産合計	11,141,298	10,928,733

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,149,003	3,543,925
売上原価	2,342,282	2,601,233
売上総利益	806,721	942,691
販売費及び一般管理費	856,018	857,070
営業利益又は営業損失(△)	△49,297	85,620
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	8,250	10,714
その他	7,896	2,394
営業外収益合計	16,154	13,116
営業外費用		
支払利息	5,686	5,356
その他	2,288	3,752
営業外費用合計	7,975	9,108
経常利益又は経常損失(△)	△41,117	89,629
特別利益		
固定資産売却益	3,539	-
受取和解金	-	18,400
その他	-	561
特別利益合計	3,539	18,961
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△37,577	108,590
法人税等	769	43,992
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,347	64,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△37,577	108,590
減価償却費	111,939	133,657
受取利息及び受取配当金	△8,258	△10,721
支払利息	5,686	5,356
為替差損益(△は益)	△14	6
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,539	-
有形固定資産除却損	196	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,837	550
退職給付引当金の増減額(△は減少)	141	△1,708
前払年金費用の増減額(△は増加)	△11,262	△52,678
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△28,730	△1,070
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△271	-
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△330	△3,170
売上債権の増減額(△は増加)	651,829	907,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△215,663	△415,688
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,573	24,852
未払又は未収消費税等の増減額	22,230	21,534
その他	66,941	△59,650
小計	513,905	657,748
利息及び配当金の受取額	8,258	10,721
利息の支払額	△5,310	△5,432
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	69,556	△135,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	586,409	527,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76,446	△32,911
有形固定資産の売却による収入	3,540	-
無形固定資産の取得による支出	△22,767	△490
投資有価証券の取得による支出	△1,706	△1,951
投資有価証券の売却による収入	-	50,061
その他	525	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,855	14,589
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△280,000	-
長期借入れによる収入	460,000	-
長期借入金の返済による支出	△98,939	△131,876
リース債務の返済による支出	△29,912	△22,841
自己株式の取得による支出	△74	△73
配当金の支払額	△28,382	△28,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,691	△183,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	512,260	358,584
現金及び現金同等物の期首残高	2,512,799	2,614,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,025,060	2,972,990

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	2,230,607	918,395	3,149,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,230,607	918,395	3,149,003
セグメント利益又は損失(△)	△203,801	154,504	△49,297

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	2,861,420	682,505	3,543,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,861,420	682,505	3,543,925
セグメント利益又は損失(△)	109,739	△24,118	85,620

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。